

モノケ的で高貴

高まる新作への期待—。
コンテンポラリー・ダンスを
こよなく愛し、
その魅力を伝える
達人でもある
乗越たかおが、
ピント&ポラックの
ワンダー・ワールドに迫る。

文=作家・舞踊評論家
乗越たかお
Takao Norikoshi



© Inbal Pinto & Avshalom Pollak



「オイスター」より © Eyal Landesman

幕とともに、この世ならざる世界への扉が開く……そんなめくるめく体験をさせてくれるのが、インバル・ピントとアヴシャロム・ポラックが作り出す作品である。難解なゴタクとは無縁で、無条件に楽しく感性を直撃する。高い評価を受けているイスラエル・ダンスの中でも、ひととき可愛さ、世界中で公演が待ち望まれているカンパニーといついい。すでに日本でも代表作『オイスター』や『ブービーズ』が再演・長期公演を重ねているが、その奇天烈にして愛らしい魅力はクチコミで広がり、続々とファンを増やしていったことはご存じの方も多だろう。今回は、そのインバル・ピント・カンパニーが、彩の国さいたま芸術劇場と共同で作る新作公演である。

インバルは次々に浮かぶイメージをまずノートに描く。昨年テルアビブで会ったときに見せてもらったが、それはまるで一冊の絵本のような豊饒さだった。ここから衣装そして舞台美術まで独自の世界を構築していくのだ。

しかし言うまでもなく、彼らの舞台の最大の魅力はダンスそのものにある。従来のダンスとは隔絶されたような、驚異的という他ないオリジナリティに溢れている。どこかモノケ的な、高貴にして始原の強さと美しさを

兼ね備えているのだ。お仕着せの動きではなく、自らの律動によって導かれる野生動物の動きのように、一度その動きを見た者は、魅了されてしまうのである。

もちろんその動きを体現するダンサーには、身体能力のみならず特別なセンスも要求されるのだが、今回は二人の日本人ダンサーが参加することでも話題を集めている。

各方面で人気の高い森山開次は4年前に『草原の風』という作品でインバル・ピントの振りを踊ったことがある。インバルと森山、両者の持つモノケ的な部分があまりにもベストマッチで、ゾワゾワと鳥肌が立ったものだ。これは、真に優れたダンサーと振付家が運命的な出会いを果たしたときのみ感じるものだ。大植真太郎は既に世界で広く活躍し、受賞歴も多い。noismなど日本でもその実力を遺憾なく発揮しており、今回も作品に大きく貢献してくれることは間違いない。

今作は宮沢賢治の作品がモチーフとして生かされるかも……といった前情報もあり、インバルにとってもまた新たな魅力を見せてくれそうな予感がするのである。楽しみに待ちたい。

日本昔ばなしのダンス

日本の昔ばなしをダンスで綴る人気シリーズ第2弾。お母さんも子どもたちも知っている昔ばなしから、去年は、「ねずみのすもう」と「へっこきよめ」を上演。からだの動きの楽しさが満載の舞台には、おおらかな笑いあり、手に汗にぎる緊張感あり。今年はそのような「さんねんねたろう」や「かみなりむすめ」が登場するでしょう。親子で一緒に楽しんでください。

「かみなりむすめ」は名前が可愛いのと、お話がちよいと切なくこれまた可愛いかったのと、怒りっぽい自分と雷ならば結構いけるんじゃないかと思って選びました。でも見どころはそれを井手氏が私に振付してくれる事でしょう！かねてより振付られたしと願ひし人によって踊らされる私は見所でしょう？もちろん私が井手さんに振付てしまう「さんねんねたろう」だって何のその。頑張る。ですからどうぞ大人の方も恥ずかしくないで見て来て下さいね。

Masako Yasumoto
康本雅子



やすもと まさこ
多岐にわたるジャンルにおいて振付や出演で活動。演劇や映画、ミュージシャンのライブやPV等で振付を行う他、自身の作品をポロポロと発表。俳句もシュールで、聴きほけて野蠻。と評されるがそれはどうかな。これまでに韓国、イタリア、マレーシア、タイで自作を発表。この度初の井手氏との対番！



Shigehiro Ide
井手茂太

日頃僕と同じように振付をあちこちでやっている康本さんをパートナーに、お互いに振付し合っ一緒に踊るのは、自分でもとても楽しみで、もういっそ康本に染まりたいくらいの気持ちです。普段あまり出演はせずに振付に専念していたこの僕が、約3年ぶりに踊るので「さんねんねたろう」。ずっと寝ていると思ったら！ そう言われるかも。そして可愛いだけでもキツいだけでもなく、ちょっと切ない「かみなりむすめ」。ふたりそれぞれにびったりなお話が見つかったのではないかと思います。子供、大人、親子連れ、すべてのひとに楽しんでもらえたら。

いでしげひろ
人がつい「してしまう」動きや行動を取り出して、出演者の個性を活かした振付と、ユニークな空間や場のつくり方で注目を集めている。自ら率いるイデビアン・クルー以外に演劇作品への振付など、ダンス界以外での評価も高い。

●●●● DANCE ●●●●

『日本昔ばなしのダンス』
井手茂太／康本雅子 3才以上のお子さんから楽しんでいただける公演です。

【日時】2008年1月19日(土) 開演 13:00 / 16:00
20日(日) 開演 13:00 / 16:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

【演目】「かみなりむすめ」【振付】井手茂太 【出演】康本雅子 井手茂太
【演目】「さんねんねたろう」【振付】康本雅子 【出演】井手茂太 康本雅子

【チケット(税込)】全席指定 大人(高校生以上):2,000円 子ども(3才以上中学生以下):1,000円

【発売日】一般:10月27日(土) メンバース:10月20日(土)